

社会的自立に向けて…家庭でできることをしていませんか 中学校編

中学校になると、小学校の学校スタイルとは大きく変わります。3年後の中学校卒業を見ずえて、社会的に自立していくだけの力を家庭と学校が協力して身に付けていく必要があります。まずは、新生活がスムーズにスタートできるように、今からできることを始めておきましょう。

教科担任制

授業は、教科ごとに担当する先生が変わります。

ノートの書き方、宿題の提出方法、持ち物も教科によって違います。

小学校生活との違いについて、具体的に話をしておきましょう。



計画を立てて実行する

中学校では、漢字ドリル、計算ドリルがなくなる代わりに各教科の副教材の提出も多くなります。テスト勉強なども自主的に計画を立て実行していくことが大切になります。

<例>今のうちにつけておけると良い力

- ・ 生活の中でスケジュール表を立て、計画通り動いてみる。
1日の学習の時間、内容（分量など）を具体的に決め、実行することも必要です。
- ・ 家庭学習に優先順位をつける。

すべきことを書き出し、優先的に行うものから順番にこなしていくなど、具体的に方法を伝えることもよいでしょう。どうしても無理な場合は、お子さんと一緒にできる量などを考えていけるとよいでしょう。

低	学校の問題集 (月末提出)	添削教材 (次の塾の日に提出)	塾の宿題 (一週間以内の提出)	学校の宿題・課題 (翌日提出)	学校の宿題・課題 (翌日提出)	高
---	------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---

困ったこと・わからないことを伝える方法

授業中に困ったことが起きた時、友達とのトラブルが起きた時、小学校と違い、担任の先生にすぐに言える場合ばかりではありません。困った時にどうするのか、誰にどうサインを出すのか、どう言ったらよいのかなど、お子さんと話し合ってみましょう。

また、気持ちを落ち着かせるもの、場所、人などについても、お子さんと話し合って準備しておきましょう。



<例>こんな場面では？想定して対処方法を考えてみよう

- ・ 困ったことを友達や先生に言葉でうまく伝えられるか
伝えられない場合は、SOSをどう先生や周りにキャッチしてもらうのか
- ・ どんな言い方をするとよいのか
- ・ 困ったこと、イライラを担任に会うまで（給食の時間など）我慢できるか
- ・ どうしてもこらえられなくなったときはどうするのか
(別室でのクールダウンなど、学校の協力が必要な場合は学校に相談をしてみよう)



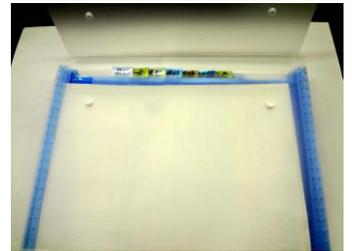
教科ごとの見出しをつける



片付けの練習

物がなくなる、忘れ物が多いなど、片付けに関しては、大きくなっても苦手なお子さんが多いです。お子さんにあった支援をしていながら、自分で工夫できる力もつけていきましょう。

教科ごとのプリントなどを紛失しないように見出し付きファイルで持ち運ぶ



<例>片付けが上手になる事前の準備

- ・ 教科ごとに教科書やノートをゴムで止めたり、ファイルや袋で区別をつけたりする。
- ・ 教科ごとに色分け、教科の色に合わせノートのへりをマーカーなどで色付けする。
- ・ 引き出しの棚に「〇〇」など、タグを付ける。

時間を見て動く準備

授業も50分間になり、小学校とは違って指示がなくても自主的に動くことが求められます。

また、中学校によっては、チャイムなしで行動する学校もあります。時計を見て動く練習も取り入れてみましょう。



部活動への準備

部活動は学級とは異なる集団で、社会性を育てるよい機会になります。

<例>部活動で養われる社会性

- ・ あいさつをきちんとする
- ・ 先輩・後輩という縦の人間関係を尊重する
- ・ 部の一員として、できることで役割を果たす

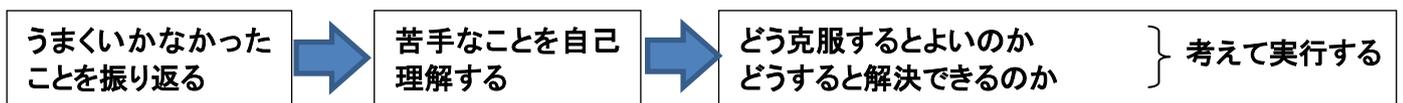
異年齢の集団で活動することで、もっている力を発揮していきやすいお子さんもいます。また、自分に合った部活動を選ぶことで、部活動を楽しみに学校生活を頑張れるお子さんもいます。

今から少しずつ家族で話をし、部活動に対する準備を始めてみるのも一つです。

今後、休日の部活動から地域移行されていくことが検討されております。

失敗への準備

人生は成功経験ばかりではありません。失敗してしまった時は、その場をとらえて、なぜうまくいかなかったのか振り返ることが大切です。自分の得意なこと、苦手なことを知り、どう乗り越えるかなどの対処法を理解し、実行できるようにしておくといよいでしょう。



金銭の使い方について

金銭を管理する力は、将来、家庭生活を営む上で非常に大切です。お子さんの中には、自分の欲しいものを次々に買って、お小遣いをもらった日にすべて使い切ってしまうという場合もあります。例えば、小遣いを一か月ではなく一日分だけ渡すなど、渡し方を工夫していくことや、欲しいものがあれば、少しずつお小遣いを貯めて買うということを教えていきましょう。

異性とのかかわりについて

思春期は異性に対する興味が高まる時です。異性とのかかわりは、子どもの社会性の発達にはとても大切なことです。しかし、他人の表情や感情を読み取るのが苦手な場合、相手への好意をうまく伝えられなかったり、自分の行動によって相手がどのように感じるのかを予測することができなかったりします。相手との距離感を考えること、自分の一方的な思いではなく相手の思いをしっかりと確かめること、嫌なことは嫌だとはっきりと断ることなど、一つひとつの行動をていねいに確認していく必要があります。



高校進学に向けて

中学校を卒業してからの進路を考えて、早い段階から準備をしておきましょう。先生や先輩から高校の話聞くこともよいでしょう。また、学校見学会や説明会に参加してみるなど、体験する機会があれば積極的に参加し、時間をかけてじっくりと考えていきましょう。

